



2023年5月15日

各位

会社名 株式会社フーバーブレイン
代表者名 代表取締役社長 興水 英行
(コード: 3927 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 石井 雅之
(TEL. 03-5210-3061)

通期連結業績予想値と実績値との差異及び 通期個別業績実績値と前期実績値との差異に関するお知らせ

2023年3月期の通期連結業績予想値と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。また、当社は、個別業績予想につきまして開示しておりませんが、2023年3月期の通期個別業績実績値と前期実績値との対比において、その差異が適時開示の基準に達しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異について

2023年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|--------------|-----------|-----------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) (2023年4月14日発表) | 百万円 2,338 | 百万円 58 | 百万円 未定 | 百万円 未定 | 円 銭 未定 |
| 当期実績値 (B) (2023年3月期) | 2,338 | 58 | 53 | 26 | 5 01 |
| 増減額 (B - A) | 0 | 0 | — | — | |
| 増減率 (%) | 0.00 | 0.00 | — | — | |

2. 差異の理由

(1) 売上高及び営業利益

2023年4月14日付公表「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(2) 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益

外貨建て支払債務等に係る為替差損並びに新株予約権（ストック・オプション）の発行に係る費用を計上しております。

3. 2023年3月期通期個別業績実績値と前期実績値との差異について

2023年3月期通期個別業績実績値と前期実績値との差異

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|-------|------|------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前期実績値 (A) (2022年3月期) | 1,240 | △62 | △65 | △14 | △278 |
| 当期実績値 (B) (2023年3月期) | 1,649 | 35 | 27 | 22 | 427 |
| 増減額 (B-A) | 409 | 98 | 93 | 37 | |
| 増減率 (%) | 33.0 | — | — | — | |

4. 差異の理由

売上高につきましては、ITツール事業のセキュリティツールにおいて、身代金要求型ウイルス「ランサムウェア」やメールで感染を広げるマルウェア「Emotet (エモテット)」等、感染被害が目に見える形のサイバー攻撃が拡大し、企業規模を問わず、サイバーセキュリティ対策強化の必要性の認識が高まっております。このような背景により、当社のセキュリティツール製商品群の需要は高まっており、販売実績が継続して伸びました。

また、2020年4月より国内2社目の総代理店（ディストリビューター）として取り扱いを開始しております世界初のSASE（サシー）プラットフォーム「Cato SASE Cloud（ケイトサシークラウド）」は、複数の有力SIerとの二次店（リセラー）契約による販売拡大が奏功し、販売実績が積みあがり、さらに、働き方改革支援製品「Eye “247” Work Smart Cloud」は「ポストコロナ」を見据え、業務可視化分析機能による働き方の見える化にとどまらず、会社の「今」を映し出し、経営者の意思決定に必要な情報を提供する経営支援サービスへの機能アップによる販売増加により導入企業数が1,900社超と増加いたしました。

その結果、売上高は前期実績を上回り過去最高を更新いたしました。

(2) 営業利益、経常利益及び当期純利益

売上高増加に伴う売上総利益の増加、また、「Eye “247” Work Smart Cloud」の製品力強化に向け積極的な開発活動を継続しつつも、販売費及び一般管理費の適正化を計画どおりに遂行した結果、営業損益、経常損益及び当期純損益において4期ぶりに黒字を計上することとなりました。

以上